

高知県における特定外来生物アルゼンチンアリの初記録

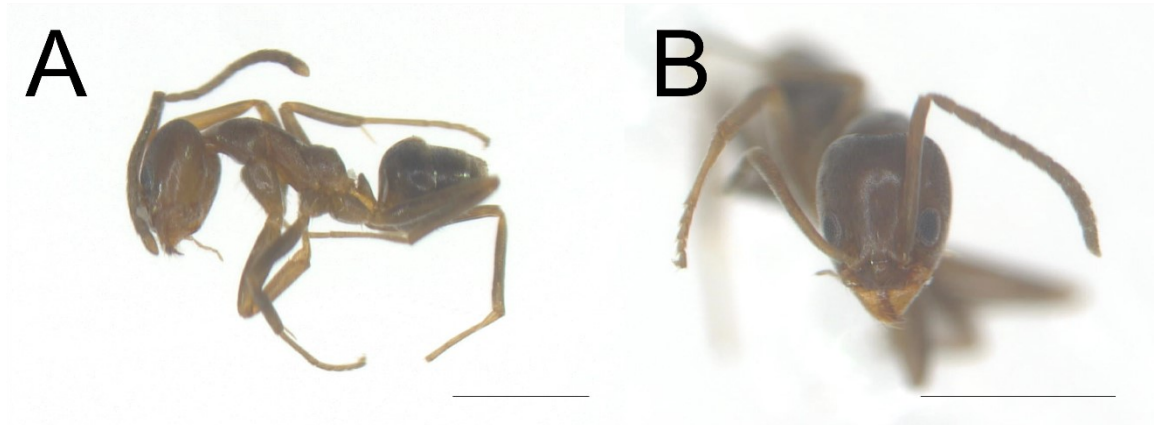
辻 雄介¹¹株式会社 相愛

写真1 *Linepithema humile* アルゼンチンアリ (A: 側面, B: 正面, ともに同一個体. スケールバーは1mm) .

種の記録

Formicidae アリ科

Linepithema humile (Mayr, 1868)

アルゼンチンアリ(写真1)

標本 体長 2.5mm. 採集年月日:2023 年 9 月 19 日. 採集場所:高知県高知市棧橋通 5 丁目. 採集方法:見つけ採り(現地でエタノールにより固定). 採集数:4 個体(働きアリ). 標本保管:株式会社相愛内(乾燥).

種の特徴

頭部は正面から見て長さよりも幅が長く, 前方に向かうにつれて幅が狭くなること, 触角柄節が頭部後縁を大きく超えること, 頭部・胸部背縁に明瞭な立毛がないこと, 後胸溝が明瞭に凹むことで本種と同定した(寺山ほか, 2014).

備考

本種は, 2005 年に施行された外来生物法では特定外来生物に, 2015 年に公表された我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リストでは, 在来生態系への被害が大きく侵略的であることから, 対策の緊急性が高く積極的に防除を行う必要がある緊急対策外来種に指定されている. また, 世界および日本の侵略的外来種ワースト 100 にも選定されている.

筆者は高知県内におけるアリ科の分布データの蓄積を進めており, その一環として当地を訪れたところ, 公道上を歩行する本種が採集された. 本種発見後, 直線距離で 1km 程度の範囲を踏査したところ, 調査範囲内には広く分布していることがわかった. ほとんどの観察地点でアルゼンチンアリのみしか発見できなかったが, 一部公園の草地周辺などでは本種とともに在来のトビイロシワアリ *Tetramorium tsushimae* 只一種が確認された.

本種は繁殖力が極めて高く, 分布拡大後の根絶は困難なことが知られている. そのため, 侵入初期段階での迅速な対応が必要であり, 少なくとも, 当地周辺における分布状況の把握, 徹底的な駆除, 生息状況のモニタリングが急務と思われる.

引用文献

寺山 守・久保田敏・江口克之. 2014. 日本産アリ類図鑑. 336p. 朝倉書店.

(2023 年 9 月 21 日受付, 2023 年 9 月 26 日公開)

連絡先:辻 雄介(e-mail: y.tuji@soai-net.co.jp)
(Yusuke Tsuji. 2023. New record of alien invasive ant *Linepithema humile* (Formicidae) from Kochi Prefecture. NS Fieldnote, 23016)